



ライフアカウント L.A.の 積立金管理のシステム技術について特許取得

明治安田生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）は、「ライフアカウント L.A.」の仕組みを支える積立金管理のシステム技術について、日本における特許を取得いたしましたので、お知らせいたします。

1. わが国初のアカウント型保険「ライフアカウント L.A.」について

「ライフアカウント L.A.」は、2000年4月に発売し、2005年3月末の保有契約件数が約186万件ある保険商品です。「アカウント型保険」としての画期的な仕組みや高い自在性・透明性により、各方面から高い評価をいただいております。

2004年1月には、病気や事故で体を壊して十分に働けなくなったときの生活を保障する「ライフアカウント L.A. Double (ダブル)」を発売し、「自分のための保障 (自分保障)」「家族のための保障 (家族保障)」を大切と考えるお客さまのニーズにお応えしてまいりました。さらに本年4月には、「自分保障」をさらに充実していただくために、必要な医療保障を1つにまとめた医療保障パッケージ『がん重点パック』と『女性医療パック』も発売しております。

2. 「保険機能」と同時に「貯蓄機能」「保険料調整機能」をもったアカウントが特徴

「ライフアカウント L.A.」の最大の特徴は、「保険機能」と同時に「貯蓄機能」「保険料調整機能」をもったアカウントにあります。お客さまからお払い込みいただく保険料はいったんアカウントに積み立てられ、死亡や医療保障、介護保障の保険料はアカウントから充当されます。このアカウント機能を活用することで、毎年1回、お客さまのライフサイクルにあわせて、転換することなく保障内容や払込保険料の見直しが可能となります。

3. 「ライフアカウント L.A.」の仕組みを支える積立金管理のシステム技術について特許を取得

「ライフアカウント L.A.」の特徴を支えるシステム技術に関しては、金融関連特許・IT技術に詳しい弁護士や弁理士とも連携しつつ複数の特許を出願しておりますが、今回取得した特許は、積立金管理のシステム技術に関するものです。保険商品としてのシステム技術の新規性・進歩性が認められ、日本における特許を取得いたしました（日本国特許第3667279号）。

今回の特許取得を受け、今後も当社は「ライフアカウント L.A.」をとおして21世紀の自助努力社会において、真に豊かで安心感のある生活と社会作りに貢献していきます。

生命保険事業のパイオニアとして保険業界・保険商品の発展に寄与し、「アカウント型保険」の更なる普及に貢献してゆく所存です。